

富労発基 0307 第 4 号の 1
令和 5 年 3 月 7 日

各関連団体の長 殿

富山労働局長
(公印省略)

令和 5 年「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」の実施について

労働基準行政の運営につきましては、日頃より格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

職場における熱中症予防対策については、令和 3 年 4 月 20 日付け基発 0420 第 3 号「職場における熱中症予防基本対策要綱の策定について」に基づく対策をはじめとして、毎年重点事項を示して、その予防対策に取り組んできたところです。また、平成 29 年からは「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を実施し、各防災団体等と連携して熱中症予防対策に取り組んできたところです。

昨年 1 年間の全国での職場における熱中症の発生状況（1 月 13 日現在の速報値。別紙参照）を見ると、死亡を含む休業 4 日以上之死傷者 805 人、うち死亡者は 28 人となりました。業種別にみると、死傷者数については、全体の約 4 割が建設業と製造業で発生しています。死亡者数は、建設業、警備業の順に多く、多くの事例で「暑さ指数（WBGT）を把握せず、熱中症予防のための労働衛生教育を行っていなかった」、「休ませて様子を見ていたところ容態が急変した」、「倒れているところを発見された」など、熱中症発症時・緊急時の措置が適切になされていなかった事例が含まれております。

については、令和 5 年の本キャンペーンを、別添の令和 5 年「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」実施要綱（以下「要綱」という。）のとおり実施します。

厚生労働省におきましては、要綱の 7（1）の事項について実施することとしておりますが、貴会におかれては、要綱の 7（2）の事項の推進により、効果的な熱中症予防対策を実施していただきますようお願いいたします。なお、要綱の 7（2）の各事項の推進に当たっては、厚生労働省の職場における熱中症予防対策を一元的に情報提供するポータルサイト等を活用することができます。